

あつた。こんなのが二つある。運動場の壁には美麗な構圖があつたらしい。今日見ても當時の意匠の卓越であつたことが判る。主人が入浴せる間に待つてゐる侍者の溜り所もある。丸天井のある室には美しさ構圖のエロ繪がある。フリヂリアム (Frigidarium) と呼ばれる冷水浴室がある。また生温の浴室 (Tepidarium) がある。また熱湯浴のカルダリアム (Caldarium) と呼ばれるのがある。熱氣浴室が二つある。右側の熱湯浴室には湯の噴水する槽があり、水をかぶる槽もある。勿論起熱室はある。男女位置を異にするが夫々の種々の浴室がある。最初は女性は街路の入口からすつと浴室に入つて、入浴を終れば家に歸つたらしいが、後には浴後の温き肉體美を裸出して運動競技をすると共に歡樂の極を味つたらしい。婦人の着衣箱として設けられた壁の穴が男子の脱衣箱の丁度下にある。これは後に作られたと云はれてゐる。火山爆發前の歡樂境たりしボムペイ市の人間の自然生活は今日

のエロ、グロ以上であつたらしい。羅馬の大浴も亦エロ、グロ以上であつた。露國の性的共產状態を想像すれば大過なからう。そんなことは本論ではないが、今日の所謂温泉場の設備以上のものが既に紀元一世紀以前に出来上つてゐたことを想ふと實に驚くより外がないのである。

新著紹介

○桑原博士還曆記念東洋史論叢

弘文堂發行

定價十二圓

さきに小川博士の記念論文が出たが、同時に我東洋史の泰斗桑原隨藏博士還曆の記念にこの四六倍版一三六八頁といふ大論文叢が出た、鬱然たること林の如しといふべきではないか、門下及友人の論文凡四十五篇、その中で人文又は歴史地理に關するものは左の如くである。

池内博士の始建の征東行省、岡崎丈夫氏の六代帝邑考略、加藤繁氏の宋代の都市の發達、杉本直治郎氏林邑建國の始祖飯島忠夫氏の木星紀年法、藤田元春氏の暹羅國行程及海路考、内藤喬輔氏の高麗風俗に及ぼせる蒙古の影響、白鳥庫吉氏の大秦傳に現はれた支那思想、有高巖氏の元代の農民生活、鴛淵一氏の建州左衛地、那波利貞氏の唐の長安城、内藤博士の

三井寺所藏の唐通所凡十二篇に上る豈盛ならずや、蓋し近來京大出身の史學科の人々が、地理方面の論説をかくことは著しい事實である、我々はさうした人々が史學科の人々であるからといつて、その論文が歴史であつて、地理でないなど、考へては大なる誤であると思ひ敢てかうした力作に充ちた論叢の出版されたことを報告しておく。(M)

○中國地名大辭典

劉均仁著 國立北平研究院發行

定價十五元

本書ははじめて出來た支那の地名辭典である、新しい地名がよくわかる、ずつと古い歴史的地名の中には之を省略したものが多く、本書で最もうれしいのは、著者が日本の文學士宮越健太郎氏の注意により、羅馬字の索引を卷末に附したことである、支那の地名は漢字でその讀法がわからぬので苦む人が多い、こうした時節に漢洋の對譯を座右にもつといふことはいかにうれしいことであらう、しかしこれによつてリヒトホーフエンのアジャに出る地名がすべてわかるといふわけにはゆかぬ、山や川の名は殆どなく、主として縣や村の名の辭典であるからである、四六倍版一一一八頁、ローマ字索引二三二頁の大本である。(F)

○六國史索引 全

大阪朝日新聞社發行 正價四圓

大阪朝日は其創立五十年紀念として、こゝ二三年にわたつて六國史を校訂して正本を世に出したが、その最後の事業として索引一部をつくつた、佐伯有義氏の努力の結果である。

神名、人名、地名、雜の四部にわかつて、六國史全部にわたつての索引が出來た、我々はこの後本書によつていくばくの利便をうるかはかりしられぬものがある、その神名の索引をみる丈けでも、我國古代の人文地理を明にするために、いかに有用であるか、その地名をひいて、古い地名のいかに變化したかをしるといふことの如き全く本書の賜は豫測しがたい。予は本書の如きまじめな著述が、我地理學界の中に於て出現せんことを祈らざるを得ない。(藤田)

雜報

○北伊豆地震に現はれた諸現象 (圖版第三版解説)

上圖は田方郡函南村田代盆地の耕地を南南西から望んだもので、面積二十町歩に達する。全面に亘り鍋狀斷層により陥没してゐる。周邊では只龜裂となるが同心圓をなし、漸次中央に進むに従ひ、階段小斷層をなしてゐる。此の階段小斷層の認めらるるは直徑凡三百米の範圍で、落差十五糎乃至五糎中心部は傾斜する階段をなす。圖中中央に水を湛へてゐるのは此の部分である。海平—原保斷層は盆地の北山地から西縁丘陵に開けた畑地に沿ひ南下して耕地の西邊を横ぎり、西側降下してゐる。圖中左方に水を湛へてゐるのは此の凹所である。下圖は田方郡田中村田中山御料地の陥没である。駿豆鐵道田京驛の東北東凡そ四軒の地點で、北條の辻と北狩野村茅